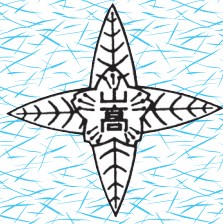


第72号

編集・発行
日本大学山形高等学校
図書部
図書委員会

発行日
平成29年2月15日

(株)大風印刷



日大山形 図書館報



こんな思い出がある 其之二

校長 中村 薫

こんな思い出がある。

二階の書庫からはみ出して、廊下や階段にのさばっている書物を整理しようと、今流行の買い取り・販売店に持ち込んだ。見栄えの良い本は低価格で引き取ってくれたが、考えてみると安すぎる!! 価値的に見れば、引き取り額の二〇倍はするはずである。しかし、その店は販売額も低価格であるから、仕方がない。また、少しくたびれた書物二〇巻。店員曰く「こちらの本は売り物にはなりませんから、店で処分させてもらってもよろしいですか?」……冗談じゃない! 「いえ、持ち帰ります。」と言って書店を出た……さて、どうするか? しばらく考えて、当時、山大の前に在った古本屋に持ち込むことにした。

店主は「これは貴重本です。全巻揃っているので、高く引き取らせていただきます。」の答えが返ってきた。金額は忘れたが、確か、一万数千円で引き取ってくれたのである。中には子どもが成長して不要になった「絵本」もあったが、店主は「絵本は引き取れませんが、仙台の〇〇町に高く引き取ってくれる店がありますよ。」と教えてくれた。結局絵本は子供たちがよく通院していた小児科医院と幼稚園に引き取っていただいたのである。

後日談。数年後に上の娘が嫁いで孫が二人できた。東京に住んでいる娘家族の土産の中に必ず絵本が入っている。面白いことにその絵本は娘が幼いころに買い求めた絵本と同じものばかりである。

こんな思い出がある。

同じ年齢の親友が逝って五年になる。彼との出会いは三歳か四歳ころだったと思う。その頃は宮町に暮らしていたが、戦後一〇年の頃でようやく日本も活気づいてはきたものの、市内の道路もまだアスファルトになる前であった。幼稚園へは一緒に通ったが、小学校への入学は彼が九小で私は三小であった。私は小学校の二年の時に転校し、現在の住所に移動した。その数年後に彼の家族が我が家の

隣へ引っ越してきたが、転校せずにバスで九小まで通っていた。中学校は同じ七中に数人の友と通うことになる。本を買い求める時はお互い違うものを購入し、読み終えたら交換して漱石やら鷗外やら龍之介やらを読み漁った。当然、漫画雑誌も例外ではない。二家族での温泉旅行もしばしばあった。ある日、湯船に浸かって彼はとんでもないことを口にした。「実は……俺、……好きな娘がいるんだ。お前は同じクラスだし、彼女と親しいようだから相談するんだが……どう思う。」啞然! まるで漱石の『こころ』の「お嬢さんをめぐるKと私」ではないか。私は返答に窮した。成人を迎え三人ともそれぞれの幸せな家族をもつことになる。彼が彼女にアタックしたかは定かではない。

彼とは別々の高校に進学したが、定期試験時は一緒にどちらかの家で勉強をした。互いに苦手なところを教えあった。数学にどうしても解けない問題があった。教科書を片手にああだ、こうだと解いてはみるものの答えには届かない。深夜の三時をまわって、次の日を考えて眠りについた。漸く深い眠りについたころ、「解けた! 起きろ! 解けたよ!」彼は夢の中でも計算していたのである。甘いそして激しい青春の思い出である。今は彼の冥福を祈るばかりだ。

こんなことを考える。

仕事や出張の帰りは、書店に寄るのを楽しみとしている。どんな新刊が出ただろう。あの作家の新刊は出たろうか。そして家の机の周りに積読も多いためである。購入した本をできるだけ早く読まない、また同じ本を購入することになる。あつ、また同じ本を買ってしまった。よくある事で悔しさに苛まれる。積読はやめよう。後悔してもはじまらない。

書店に並ぶ本を見ると、いつの時代も愛され読まれる作家がいると同時に、その時々爆発的に愛読される現代作家もいる。しかし、芥川賞ほか様々な賞に輝いて、後に芥川賞の選考委員になった作家でも、亡くなった瞬間にどの書店にも文庫本すら並ばなくなる。私が好んで読んでいた幾人かの作家の作品が書店から消えてしまっていること何と多いこと。多いこと。



私の読書道

第17回

司馬遷が伝えたもの

教諭 伊藤 恵 二(国語)

高校の古典分野で司馬遷の『史記』を学ばなかったという人は、そういないだろう。代表的なものとしては「鴻門之会」。そして故事成語ともなっている「四面楚歌」などが有名である。作者である司馬遷は友人であった李陵を弁護したがために宮刑という屈辱的な刑罰を受けている。その後人生をかけて『史記』の執筆に没頭することになる。完成を見るも武帝の逆鱗に触れるような記述があるためしばらく隠された。自分が世にあるうちに世に出すこともままならない内容であったにも関わらず、それを執筆することによって表現せずにはいられなかったものとはいったい何だったのだろうか。

日本に司馬遷太郎という歴史小説家がいる。司馬遷に強くあこがれる心から出たペンネームである。本名は福田定一。そのペンネームの由来は「司馬遷に遼(はるか)に及ばざる日本の者(故に太郎)」から来ている。現在では明治維新の下準備を一人で行ったかのような風雲児として、誰もが知っている土佐藩脱藩浪士であった坂本龍馬。彼の名をここまで有名にしたのは司馬遷太郎の作品として一九六三年に連載が始まった『竜馬がゆく』と言っている。坂本龍馬のみならず、多くの歴史に埋もれていた人物に光を当て、生き生きと躍動させていった。地道な現地調査と資料収集、しかし、事実のみで物語が成り立ってはい

ない。そこには多くの創造力が働いていた。時に批判の対象ともなることがあったが、彼の人物中心史観は彼にとつて必然であったと考える。司馬は描きたかったのだ。人間というものを。そう思う。病室でやり切れない思いを抱えていた時、生きることの喜びを強烈に訴えかけてくれたのは、彼の『坂の上の雲』の中に登場する正岡子規の生き様だったのを思い出す。

そして宮城谷昌光。先日、秋の叙勲で旭日小綬章を受章した報道を目にした。不遇な売れない小説家時代を長く経て、わずかな五〇〇部刊行の『王家の風日』が司馬遷太郎の目にとまる。その後『天空の舟』が司馬の激賞を受けた後、司馬の知人の経営する中小出版社から出版され、この作品が出世作となった。宮城谷は『史記』一三〇巻全文を筆写したことがあるという。彼もまた司馬遷が紀伝体を考案することによってしか描けなかった、みごとに生きた人々の姿を我々読者の前に立ちあがらせてくれる。国を越えて、時間を越えて、みごとに生きた人の姿は我々に勇気を与えてくれる。読書とは直接会うことのできない多くの人との出会いであり、本とは作家の手によって、その人の生き様が結晶化された価値観の集大成ともいえる。歴史に埋もれていきながらも、みごとに生き切ったと言える人の生き様を、是非一人でも多くの人に感じてもらいたい。その出会いは、自分の心の中に勇者を共にすることとなるだろう。



※このコーナーは、図書選定委員の先生方のリレー形式となっています。

としょかんニュース

先輩方の想いに感謝

本の寄贈をしていただきました

日大山高校校友会より本を寄贈していただき、今回で二五回目になります。会長は長岡高弘氏です。迫力のある動物の写真集や調べ学習に役立つ事典など、幅広いジャンルの本をいただきました。今回もいただいた冊数は、三三七冊にもなります。日大山高生を想う先輩方の心に感謝の気持ちをもって、活用していきましょう。



笑顔があふれる読み聞かせ

平成二八年度図書館講座

十一月二日におおぞら幼稚園に行き、読み聞かせを行いました。九回目となる今回は二年生女子二名だけの、例年よりも少ない参加でした。計四回の練習会では絵本選びや読みかたの練習、本番の流れなどを打合せしました。先生方からも感想や意見をいただき、いざ本番へ。本番当日は園児からの問いかけやかけ声も起こり、緊張しながらも楽しく読み聞かせができました。終了後は子ども達と交流をもつことができ、とても充実した時間となりました。

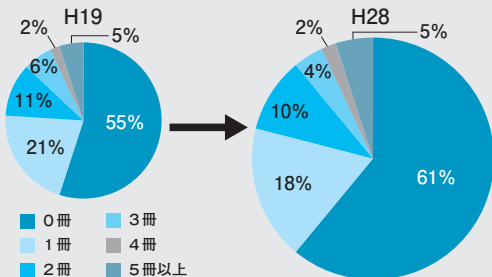
今回は少人数だからこそ、楽しさや難しさを学んだ図書館講座でした。来年度はさらに多くの参加者をお待ちしています。



● 図書に関するアンケート 結果報告 ●

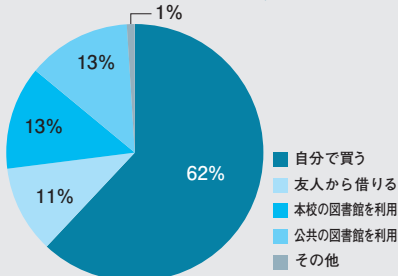
10月、生徒の皆さんの図書館利用状況・読書の傾向を把握するためにアンケートを実施しました。各コース1クラスずつ、12クラス430名の皆さんから回答してもらい、なかなか興味深い結果を得ました。9年前、平成19年度にもほぼ同内容のアンケートを実施しており、その時の日大山高生との比較からも見えたものがあります。一部ですが報告します。自分自身と比較してどうでしょうか？

Q 1ヶ月平均何冊本を読みますか



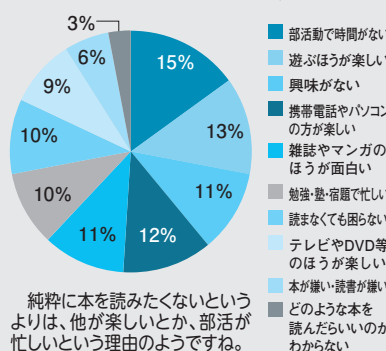
9年前とそんなに変わらない結果でしたね。本を多く読む人(4冊、5冊以上)の割合はそんなに変わっていないようですが、1冊も読まない人がさらに増え、6割を超えてしまいました。

Q ((1冊~5冊以上と答えた人)読みたい本がある場合、どのようにしていますか(複数回答可))



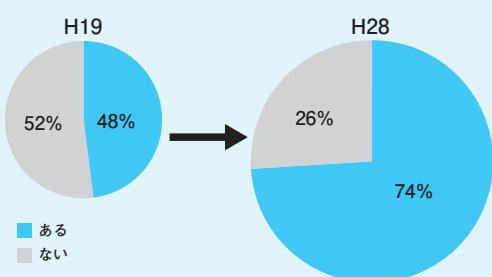
「友人から借りる」が前回より5%減っています。読書仲間とか読書から生まれるコミュニケーションは減っているのでしょうか？

Q ((0冊)と答えた人)なぜ本を読まないのですか(複数回答可)



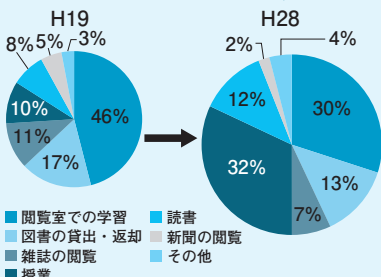
純粋に本を読みたくなというよりは、他が楽しいとか、部活が忙しいという理由のようですね。

Q あなたは本校の図書館を利用したことがありますか



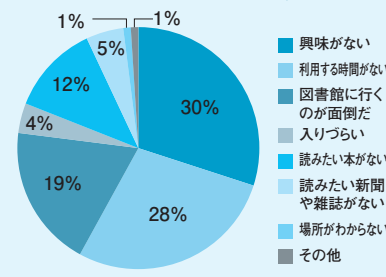
9年前より圧倒的に利用率が上がっています。図書館は学習・読書の場。情報の核でもあります。様々な活動を支え、利用しやすい図書館になるようこれからも向上を目指していきます。

Q ([ある]と答えた人)どのような目的で利用しますか(複数回答可)



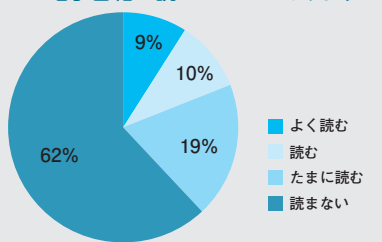
学習の場だけではなくなっていることがここからもわかります。授業利用が増えていますね。授業の形態や先生方の図書館利用の考え方も変わってきているのでしょうか。

Q ([ない]と答えた人)なぜ利用したことがないのですか(複数回答可)



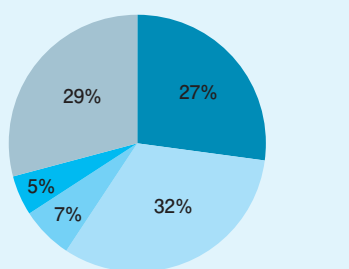
これについては9年前とあまり変わりません。1つの大きな変化は、「入りづらい」と答えた人が8%減と圧倒的に減っています。利用者の皆さんにマナーよく使ってもらっているおかげですね。

Q スマートフォンやタブレット等で、電子書籍を読んだことがありますか

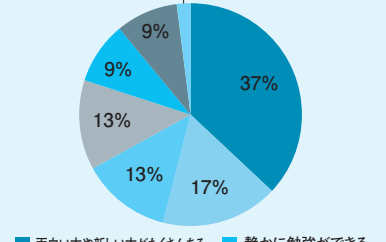


「マンガ、ニュース、雑誌を除く」という限定の質問です。純粋な電子書籍の利用は、少ないですね。

Q 今の本校の図書館に満足していますか。



Q どのような図書館だと利用したいと思いますか(複数回答可)



日大山高生に人気のある本はこれ！

年間図書貸出ベスト10



平成29年 1月31日現在

順位	書名	著者名	請求番号
1位	『植物図鑑』	有川 浩	913.6 ア
2位	『盾の勇者の成り上がり1』	アネコユサギ	913.6 ア
3位	『空の境界 上』	奈須きのこ	913.6 ナ
4位	『ダブル・ジョーカー』	柳 広司	913.6 ヤ
5位	『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』	七月 隆文	913.6 ナ
6位	『リセット』	如月ゆすら	913.6 キ
7位	『俺と蛙さんの異世界放浪記6』	くずもち	913.6 ク
8位	『ソードアート・オンライン11』	川原 礫	913.6 カ
9位	『学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話』	坪田 信貴	376.8 ツ
10位	『掟上今日子の退職願』	西尾 維新	913.6 ニ

今年はランキングの半数を、ライトノベルが占めていました。中でも2位と9位は昨年度もランキングに入っていた人気のある作品です。しかし、ライトノベルなどの作品が多く借りられている反面、歴史や心理学などといったジャンルの本があまり借りられていないように感じられます。そのため皆さんにもっと様々な本を読んでもらいたいと思います。

上記のライトノベル以外にも様々なジャンルの本がありますので、ぜひ皆さん図書館に足を運んで多くの本を借りてください。

(2年 安田 海)



平成28年度 おめでとう! 『多読クラス賞』『ベストリーダー賞』

◆多読クラス賞を決定し、その表彰が十二月十九日の終業式で行われました。各学年一位のクラスに、中村校長先生より賞状が授与されました。来年度もクラス全員で、多読クラス賞を目指しましょう!

受賞クラスの図書委員の感想

一年八組 二瓶 真衣・高松 大暉
本が好きな人がクラスにたくさんいて嬉しいです。来年も多読クラス賞をもらえるように、読書をしたいと思います。

二年十一組 近藤 勇斗・杉崎裕一朗
たくさん本を読んだ結果がでて良かったです。来年は受験もありますが、気分転換しつつ、一冊でも多くの本を読みたいです。

三年九組 佐藤 恵・横尾ふき子
多読クラス賞を受賞するために読んでいたわけではありませんが、結果的に受賞できて嬉しいです。みなさんもたくさん読書してくださいね!



1年8組



2年11組



3年9組

◆一月末までの集計でベストリーダー賞が決定し、一年生から三年生までの四〇名に賞状と賞品を贈りました。学習や部活動など忙しい中、読書が気分転換になった、という声も聞こえてきました。

◆1学年1位	61冊	ほか9名
◆2学年1位	248冊	ほか9名
◆3学年1位	280冊	ほか9名
★スポーツコース1位	12冊	ほか2名
★進学コース1位	15冊	ほか3名
★特進コース1位	19冊	ほか2名

※平成28年4月~平成29年1月までに4冊以上読んでいることが条件

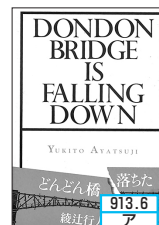
◆1年8組	平均5.3冊
◆2年11組	平均5.8冊
◆3年9組	平均10.9冊
(全校生平均 1.6冊)	

※平成28年4月~11月までの貸出冊数÷各クラス的人数で集計



『どんだん橋、落ちた』

ミステリ作家・綾辻行人のもとに一筋縄では解けない数々の難事件が持ち込まれる。表題作「どんだん橋、落ちた」では、崩壊した橋の向こう側で少年が殺された。誰がどのようにして彼を殺したのか? 「伊園家の崩壊」は国民的アニメのサザエさんのパロディで、ブラックな作品になっている。「フェラーリは見ていた」では、動物好きの老人が飼っていた猿が殺される。老人の飼う動物は主人以外には吠えるというのだが、事件当日に動物が騒いだ様子は無かったという。全五作の短編が収録されているが、どの作品も「誰が殺したのか?」という点に絞った、犯人当てのミステリ小説である。予想だにできなかった犯人の正体に驚かされること間違いなし。皆さんもぜひ、犯人が誰なのかを考えながら読んでみてほしい。



綾辻 行人 著

一年八組 高松 大暉

『天使の囀り』

死恐怖症の高梨がアマゾンの取材から帰ると、彼の人格は変容していた。高梨の変貌に気付いた恋人の早苗は、彼の異様な行動に疑問を抱く。そして、以前までは病的なまでに死を恐れていた彼が、死に魅せられたように自殺してしまう。早苗は変貌の理由を探っていると、高梨とアマゾンで行動を共にした調査団の人達も不可解な死をとげたニュースを耳にする。猫科の動物が苦手だった教授は、一人サファリパークのライオンの区画で車から降りて自らを喰わせ自殺。長男を病気で亡くした母親は、誰よりも失う事を恐れていた娘と無理心中。自殺をした人達は皆、生前恐れていた事を克服し、それに命を捧げた。また、誰もが口を揃えて、「天使の囀り」が聴こえる」と言った。一体、天使の囀りとは何なのか。



貴志 祐介 著

二年六組 児玉 緋萌

『5分後に意外な結末1』

私たち高校生はもっと本を読まなくてはならない。おそらく耳にタコが出来てしまうくらい、聞かされてきた言葉だろうと思う。この本は題名どおり五分で読むことが出来る、いや下手をすると五分もかからない、一話完結の話が沢山入った本である。しかも、これまた題名どおり本当に意外な結末が毎回やってくる。喜劇が悲劇に。ゾッとする最後。突然の裏切り。嘘が真実に……。そして誰も予想しないあつと驚くどんでん返しに、読者は心を驚つかみにされる。



この文章量はまず文字に慣れる為にはもってこいだと思うし、話が面白いので次々ページをめくりたくなる。ぜひとも、本に苦手意識を持つている人に読んでほしい一冊だ。またこのシリーズは第五巻まであり、全て図書館に置いてある。まずどの巻でもいいから一冊読んでみてもらいたい。読み終わった後、もっと読みたい、楽しみたいと感じてくれたのならぜひ他の巻も借りてみてほしい。

三年四組 横尾 鈴乃

図書館委員会活動報告

活動目標 ● 「より多くの人に本の魅力を伝える場所に」
キャッチフレーズ ● 「読んだ数だけ 旅をしている」



委員長としての一年

前期委員長 三年七組 水谷 慶貴

私は一年生の頃から図書館委員会の一員として活動してきました。そのため、私が委員長として活動する時は、一・二年生の時の経験や先輩方が行ってきたことを参考に活動してきました。私は、それらを生かすことで、一年間の活動をやり遂げることができたと思っています。

私が特に印象に残っている事は、桜華祭の時に行った古本市です。古本市では委員をまとめ、的確な指示を上手にだせるか心配でしたが、委員が積極的に行動してくれたおかげで、作業がスムーズに進みました。そして、最後まで無事に終えることができ、安心しました。また、みなさんから沢山の本を寄付していただき、とても嬉しく思いました。当日は、古本を買って喜んでくれた方や、しおり作りや消しゴムはんこ作りを楽しんでくれた方がいて、この企画にやりがいを得ることができました。

最後に、私のことをここまで支えてくれた方々に感謝します。また、後期委員長を支え、委員会をより良くして欲しいと思います。ありがとうございました。



より良い図書館にするために

後期委員長 二年八組 清野 英子

新しい図書館委員長になってから四ヶ月が経ちました。私は昨年、一年生代表として図書館委員会の執行部で先輩たちと活動してきました。私はその経験を生かして、より良い委員会にしていきたいです。私が特に頑張りたいのは、もっと本の貸出冊数を増やすことです。まだ図書館で一冊も本を借りたことがない人がいると思います。実際に、私の周りにもいます。しかし図書館が書店に行つて本を選んでくる図書選定で、興味をそそられるような本や身になりそうな本など、図書委員がみなさんに読んでほしい本をたくさん選んでいます。日大図書通信でもそれらを紹介しています。それを見て気になる本を見つけて借りに来てくれる人が増えてほしいです。また、図書館にあるリクエストカードに、読みたい本を書いていただければ、図書館で購入することも可能です。借りたことのない人が減るように、今年も図書委員全員でより良い活動をしていきますので、よろしくお願ひします。

平成28年度 図書館委員会

図書館委員会は、A（読書推進）、B（資料装備）、C（広報・データ）の3グループに分かれて活動しています。桜華祭での古本市など大きな行事・企画でも、執行部を中心に、協力し合い楽しみつつ、一生懸命取り組んでいます。

1組 池田 太郎(前) 田中 涼大(前)	1組 高津 正汰(前) 横地 太一(前)	1組 池田 太郎(前) 田中 涼大(前)	1組 高津 正汰(前) 横地 太一(前)
2組 青木 郁真 菅原 侑磨	2組 加藤 大雅 莊司 和樹	2組 青木 郁真 菅原 侑磨	2組 加藤 大雅 莊司 和樹
3組 石山 夏生 工藤 大輝	3組 半沢 圭哉 村形 礼翔	3組 石山 夏生 工藤 大輝	3組 半沢 圭哉 村形 礼翔
4組 鈴木 渚菜子 峰田 悠生	4組 門田 美羽(前) 小山 将季(前)	4組 鈴木 渚菜子 峰田 悠生	4組 門田 美羽(前) 小山 将季(前)
5組 奥田 恭介 山木 康輔(前)	5組 岩崎 朱莉 桑原 祐介	5組 奥田 恭介 山木 康輔(前)	5組 岩崎 朱莉 桑原 祐介
6組 瀬尾 翼(前) 丹 隼人(前)		6組 瀬尾 翼(前) 丹 隼人(前)	
7組 板垣 朱莉 大場 美結		7組 板垣 朱莉 大場 美結	
8組 二瓶 真衣 高松 大暉		8組 二瓶 真衣 高松 大暉	
9組 大内 開登 渡辺 宝(前)		9組 大内 開登 渡辺 宝(前)	
10組 須賀川 琴音(後)		10組 須賀川 琴音(後)	
11組 近藤 勇斗 杉崎裕一朗		11組 近藤 勇斗 杉崎裕一朗	
12組 米田 有希 西田禎之介		12組 米田 有希 西田禎之介	

◇一年生

委員長 3年7組 水谷 慶貴

副委員長 3年8組 石井 大翔

グループリーダー

A 3年10組 渡邊 烈瑠

B 3年7組 木村奈々子

C 3年6組 遠藤菜々子

2年生代表 2年8組 清野 英子

◇二年生

委員長 2年8組 清野 英子

副委員長 2年6組 山口 飛鳥

グループリーダー

A 2年9組 安田 海

B 2年9組 白鳥 拓

C 2年8組 山澤 結

1年生代表 1年8組 二瓶 真衣

◇三年生

委員長 3年7組 水谷 慶貴

副委員長 3年8組 石井 大翔

グループリーダー

A 3年10組 渡邊 烈瑠

B 3年7組 木村奈々子

C 3年6組 遠藤菜々子

2年生代表 2年8組 清野 英子



後期執行部です。よろしくお願ひします！

※(前)：前期のみ (後)：後期のみ



ライブラリーフォト

～図書館・図書委員この1年～

5月 前期委員会発足 いよいよスタート！



10月 後期委員会発足



新体制スタートです

図書館アンケート集計



1枚ずつ正確に



みなさんの声を入力します

6月 前期雑誌リサイクル



どれがどれかな～
前期図書選定

3年生が独占！

八文字屋本店にて

11月 高教研図書委員研修会 他校と協力して、「まわしよみ新聞」を作成しました



実は こんな活動もしています

Aグループ



貸出・返却もスムーズ

Bグループ



一冊ずつ丁寧に

Cグループ



日大山高生の活躍も揭示

後期図書選定



たくさん選べました



みなさんの手元へ

7月 桜華祭 古本市

たくさんの笑顔が見られました😊



8月

蔵書点検

図書委員の大事な仕事の1つです



12月

後期雑誌リサイクル



じっくり選びます



男子にも好評です

編集後記

夏休みに新書を回転書架に配架した。個人的にその存在自体、私は好きだ。保育園に通っていた子どもの頃、回転書架をまわし、絵本を出して、その脇で読んだ光景は今も覚えている。まわるもの。例えば遊園地のメリーゴーランドのように、そこからファンタジックな期待がふくらんだりするのだろうか。または、何かあると触りたくなる、ボタンはとりあえず押したくなる、まわるものはまわしてみたくなる、という反射にも近いものなのだろうか。赤ちゃんの時から持っている原始的な欲求を満たしてくれるものなのかもしれない。私だけではないようだ。統計的にも新書の貸出冊数は増えている。(小山)